

# 会 議 録

1 会議名

令和2年度 第4回和田区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）令和2年度地域活動支援事業（追加募集分）の審査・採択について（公開）

（2）和田区の人口、世帯数等について（報告）（公開）

3 開催日時

令和2年9月10日（木） 午後6時30分から午後8時20分まで

4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：有坂正一（会長）、植木厚祐、片田和夫、金子良一、草間雄一、佐藤勝雄、  
篠原精子、清水雅浩、宮崎雅彦（副会長）山岸優子、横田英昭

（欠席3人）

・事務局：南部まちづくりセンター 堀川センター長、小池係長、田中主任

8 発言の内容

**【小池係長】**

・佐藤力委員、高橋委員、平原委員を除く11人の出席があり、上越市地域自治  
区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確  
認、会議の成立を報告

・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告

**【有坂会長】**

・会議の開会を宣言

・会議録の確認：草間委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

**【堀川センター長】**

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、審議事項の確認

一次第3 議題（1）令和2年度地域活動支援事業（追加募集分）の審査・採択について—

**【有坂会長】**

次第3 議題（1）「令和2年度地域活動支援事業（追加募集分）の審査・採択について」に入る。

本日は追加募集に提案のあった4事業について、提案者からの事業説明と質疑応答の後、審査・採点を行い、事業の採択・補助額等の決定を行う。時間も限られているため、速やかな審議に協力願う。また、正副会長も審査・採点に加わるため、ここからの進行は事務局に一任する。

**【堀川センター長】**

- ・8月27日付け発送文書で、先に採択された「大和綱引きチーム活動支援事業」が提案団体の都合により事業取りやめとなったことを報告。これにより、当該事業の補助決定額8万円が追加募集分の予算額に追加された。
- ・提案状況について、当日配布資料No.1により説明
- ・提案事業4件、補助希望額合計105万3千円
- ・追加募集分の予算額99万1千円を6万2千円超過
- ・審査の流れは1事業につき、事業説明5分以内、質疑応答8分以内、審査・採点2分以内で行う。

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

審査・採点を始める。

整理No.9「子供達の安全と健全育成事業」について、提案者に説明を求める。

**【提案者】**

- ・事業提案書に基づき説明

**【堀川センター長】**

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【宮崎副会長】**

提案書3ページに大和神社との事前協議の必要ありとなっているが、これは事前協議をして問題はなかったということか。

**【提案者】**

そのとおりである。

**【佐藤勝雄委員】**

スチールのチェーンと木製の着座部分の取り替えを希望しているが、スチールは錆びやすく、木製は温かみがあり座りやすいが、腐朽しやすい。他の材料は検討しなかったのか。

**【提案者】**

専門家に依頼をした結果、見積書がそのような内容で出てきている。材質的には現在と同じようなもので更新することになるかと思う。同様の材料での予算となっている。

**【有坂会長】**

提案書に「他の遊具4基」とあるが、ブランコ以外にはどのようなものがあるのか。

**【提案者】**

ブランコが2つ、うんていが1つ、ジャングルジムが1つ、平成29年度に更新したすべり台がある。

**【有坂会長】**

4基の中に今回提案しているブランコも含まれているということか。

**【提案者】**

含まれていない。

**【有坂会長】**

ブランコ2基のうちの1基を今回修繕し、残り1基を含めた他の遊具を今後修

繕していくということか。

**【提案者】**

そうである。

**【堀川センター長】**

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.9の事業について、審査・採点を委員に依頼。

— 審査・採点シート 記入・回収 —

整理No.9「子供達の安全と健全育成事業」の審査・採点を終了。

整理No.10「上越妙高駅賑わいづくり環境整備事業」について、提案者に説明を求める。

**【提案者】**

- ・事業提案書に基づき説明

**【堀川センター長】**

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【有坂会長】**

通年でのぼり旗を設置するとのことだが、提案団体が行っているひな祭りや大ケヤキの関係、その他、謙信公祭や蓮まつりの際も設置すると思う。それ以外でも今後行事がいくつかあると思うが、行事の都度、新たなのぼり旗を作成して設置することになるのか。

**【提案者】**

基本的に通年で設置するのぼり旗は、現在すでに設置済である。今回作成したものは「ようこそ義のふるさと、上越妙高エリアへ」として、自然・歴史・米酒どころ、とのキーワードを入れている。また、キーワードの後ろに高田城址公園から見た桜並木と妙高山、下部に謙信公像、高田城址公園の蓮を入れて上越地域エリアの情報発信を目的に作成し、これが通年で設置を予定しているものになる。それ以外に、まだ作成はしていないが、例えば蓮まつりを前に出すようなもの、謙信公祭、レルヒ祭、灯の回廊等の市内の大きなイベントも対象にすることも1

つの案と考えている。その他、地域の中で発信したいものがあれば、地域協議会にも提案をしながら次年度以降にやれるものはやっていきたいと考えている。

**【有坂会長】**

最初に示された桜や蓮等を一緒に描いたのぼり旗をまずは100枚作成し、その後、随時追加されるものについては、残りの50枚の中に含まれるということか。

**【提案者】**

今年度分についてはそういうことである。現在30枚ほどが設置されているが、今までもひな祭り等のイベント期間には東口と西口のロータリーにそれぞれ設置をしていた。今年のイベント期間は、自由通路を中心に東西のロータリーにも設置する考えであり、100枚近い枚数となる。また今後、イベントの関係で新たに作成した場合、現在は大体1か所に2本ずつ設置しているが、その1本を抜いてイベント用のものを入れようと思っている。つまりイベント用と通年用がセットになって見えるようなイメージで考えている。

**【佐藤勝雄委員】**

地域の観光を見据えたデザインであり、非常に立派だと思う。提案書の参考資料にある、のぼり旗の設置を予定している自由通路の通行に支障は出ないのか。また、のぼり旗ばかりではなく、例えば横断幕にするなど、他のデザインは検討しなかったのか。のぼり旗にした経緯を教えてほしい。あと、転倒防止対策等はしっかりとされているのか教えてほしい。

**【提案者】**

設置場所について、東側の階段やエスカレーターに向かう道の両側に設置予定であり、これも市と協議をして歩行者の動線とぶつからないように設定した場所である。そのうち1か所は、柱の右斜め上の動線からは陰になるが、階段を上がってくればよく見える。また、もう1か所は、エスカレーターを上ってくればよく見えるが、動線にはぶつからない場所である。このようなかたちで設定した。次にのぼり旗以外の検討について、今回、のぼり旗を設置すること自体、これまでに市として受けたことのないことをお願いするわけで、1つや2つではなく、

20か所ほどの場所に設置することになるため、市の上承を得るために非常に大変なエネルギーが必要であった。そのような状況の中でようやく実施できた。ただし今後については、のぼり旗だけではなく、例えばフラッグのようなものも作成したらどうかという考え方もあるので、今後の課題にしていきたい。

**【堀川センター長】**

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.10の事業について、審査・採点を委員に依頼。

— 審査・採点シート 記入・回収 —

整理No.10「上越妙高駅賑わいづくり環境整備事業」の審査・採点を終了。

整理No.11「西田中住民の安全・安心活動事業」について、提案者に説明を求める。

**【提案者】**

- ・事業提案書に基づき説明

**【堀川センター長】**

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【有坂会長】**

今回の補助希望額は27万3千円であり、支出額の全額に地域活動支援事業の補助金を充てている状況である。もし減額して採択となった場合、例えば、町内会の直近の決算収支で13万6千円の残額があるようだが、それを不足分に充てることは可能なのか。

**【提案者】**

提案書の1ページ目に、直近の会計収支決算の金額を記載している。町内会では、ぎりぎりの町内会費で運営しており、記載している13万6千円は、翌年度に新たに町内会費が入ってくるまでの繋ぎ資金として必要な金額である。実際に町内会の自己資金で用意できるものは少ない。もし減額となった場合、改めて計算をして無理なところは諦めざるをえないと考えている。今回の予算についても当初は事業をもっと膨らませて検討していたが、新型コロナウイルス感染拡大防

止のため、内容をできるだけ重点化し最小限度の要求をした。

**【堀川センター長】**

質疑を終了する。

— 提案者退席 —

整理No.1 1の事業について、審査・採点を委員に依頼。

— 審査・採点シート 記入・回収 —

整理No.1 1「西田中住民の安全・安心活動事業」の審査・採点を終了。

整理No.1 2「スポーツによる地域活性化（まちづくり・交流人口の拡大）事業」について、提案者に説明を求める。

**【提案者】**

- ・事業提案書に基づき説明

**【堀川センター長】**

提案者の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【有坂会長】**

2点ほど確認したい。提案書の1ページ目に「構成員数30人」、「収入額28万5,000円」と記載されている。この収入は会費ということか。会費であれば1人当たり幾らを徴収しているのか教えてほしい。次に今回申請をしている約36万円の内訳として、ユニフォームや帽子の単価を教えてほしい。

**【提案者】**

収入額は会費収入であり、1人3千円を参加費として徴収しているが、学生もいるため強制でなく、支払える時に支払ってもらうかたちで運営している。今回申請した金額については、事前に市内の2社より見積もりを取った。チーム全員分の背番号のついたベースボールTシャツ・帽子、ヘルメット、また、今後ボールがA球ではなくM球に変更になるため、ボールも購入したいと思っている。あとはボールバックとヘルメットケースも購入を希望している。単価については、ベースボールTシャツ、つまりユニフォームの上着だけで1着5,040円、帽子が1個1,760円、ヘルメットが1個4,160円、ボールが1ダース7,440円、ヘルメットケースが1つ9,500円となっている。

**【宮崎副会長】**

1人3千円の会費を徴収するとのことだが、会員が30人では9万円にしかない。提案書の1ページ目に記載の「収入額28万5,000円」との差額について教えてほしい。また、野球道具の購入後の保管について、どのように考えているか。

**【提案者】**

差額については、会員から徴収する参加費のほか、グラウンド使用料が1回につき8千円ほどかかるため、それを単純に頭数で割るのではなく、1人1,000円ずつ徴収し、収入にまわしている。次に用具の保管に関しては、「ユニフォーム・キャップ貸出の管理台帳」で一括管理をしていきたい。

**【佐藤勝雄委員】**

会員の年齢層と、将来的な人数の予測を教えてほしい。

**【提案者】**

現在、下は高校1年生の16歳から上は56歳までの幅広い年齢層で運営している。これからの運営について、スポーツ全般にいえることだと思うが、1つのことをみんなでやり遂げる達成感があり、若者が若者を誘ってくるため、あまり強制的に勧誘をしなくてもメンバーが集まっている状態である。今後はどうなっていくか分からないが、幅広く活動して大和ベースボールクラブの知名度を上げ、さらにメンバーが入ってくれることを祈っている。

**【草間委員】**

今年度の大会については、全てスケジュールどおりにできそうか。

**【提案者】**

昨年度のうちに今年度の予定を立て、試合日程も全て決まっていたが、新型コロナウイルスの影響があり、7月以降に1回試合を実施したのみである。10月以降の試合については、9月10日の審議で決まる。例年どおりであれば、4から5試合ほど予定される。

**【堀川センター長】**

質疑を終了する。



— 提案者退席 —

整理No.12の事業について、審査・採点を委員に依頼。

— 審査・採点シート 記入・回収 —

整理No.12「スポーツによる地域活性化（まちづくり・交流人口の拡大）事業」の審査・採点を終了。

これから事務局で集計作業を行うため、休憩とする。

— 休憩（10分間） —

**【堀川センター長】**

会議を再開する。

審査・採点結果説明

- ・基本審査で不適合が過半数となった事業なし。
- ・優先採択審査でその他の事業となった事業なし。
- ・共通審査の委員採点で得点が多い順に順位づけ（満点は275点）
  - 1位 整理No.11「西田中住民の安全・安心活動事業」 244点
  - 2位 整理No.10「上越妙高駅賑わいづくり環境整備事業」 212点
  - 3位 整理No.9「子供達の安全と健全育成事業」 201点
  - 4位 整理No.12「スポーツによる地域活性化（まちづくり・交流人口の拡大）事業」 194点
- ・この結果により順位は確定。
- ・基本審査で不適合がないため、補助希望額が予算を超過している状況。予算超過分の取扱いも含め、この後の審議の進行を有坂会長にお願いする。

**【有坂会長】**

採択事業の検討を行う。審査・採点の結果、予算額99万1千円に対して補助希望額が105万3千円となっており、予算額を6万2千円超過している。当初の募集のように全ての事業について、補助希望額どおりに採択できないため、予算の配分方法について、正副会長会議で協議した参考資料の減額案を示したいと

思う。事務局に参考資料の説明を求める。

**【小池係長】**

- ・参考資料により説明

**【有坂会長】**

事務局の説明について、質問や他の減額方法など、意見のある委員の発言を求める。

**【片田委員】**

過去にも予算を超過したことはあったと思う。どのようにして減額したのか教えてほしい。

**【有坂会長】**

前期の地域協議会では、予算額を超過したことが2回あった。1回目は参考資料のA案と似た方式で順位に応じた減額を行った。2回目については補助希望額と予算額にあまり差がなかったため、順位に応じるのではなく、参考資料のB案と同じように一律の割合で減額を行った。それ以外の過去の減額案について、事務局より補足を願う。

**【堀川センター長】**

過去の減額事例について補足する。ある提案事業について、補助制度の趣旨から馴染まない支出項目があるとして、事業費の一部を減額したことがあった。

**【植木委員】**

過去の事例として、予算額に対して補助希望額が大幅に超過していた場合、順位に応じて差を付けたとの考え方でよいか。また、予算額と補助希望額にあまり差がなかった場合は、一律の割合で減額したということか。再度教えてほしい。

**【有坂会長】**

順位に応じて減額をした時は、補助希望額と予算額に大きな差があったと記憶している。詳細な金額は記憶していない。2回目の一律の割合による減額をした時は、補助希望額と予算額の差が比較的小さかった。だが2回目の時も、順位に応じて減額した方がよいという意見と、一律の割合による減額とした方がよいという意見があり、最終的に採決をとり、一律の割合で減額することに決した。

**【堀川センター長】**

補足である。順位に応じて減額したのは平成30年度の当初募集であり、補助希望額が予算額を約200万円超過していた。一律の割合による減額としたのは、昨年度であり、超過額は約30万円であった。

**【植木委員】**

今の説明を聞くと、確かに補助希望額が予算額を大幅に超過した場合には、順位に応じて下位の事業に対してある程度の減額をする必要があると思った。しかし、今回は予算額と補助希望額にあまり差がないので、B案の一律の割合による減額がよいと思う。

**【山岸委員】**

超過額は6万2千円であるため、B案がよいと思う。

**【草間委員】**

B案がよいと思う。

**【有坂会長】**

補助金額の配分方法について、参考資料の減額案のA案かB案で採決を行ってよいかを諮り、委員の了承を得る。

採決の結果、賛成の委員数が過半数に達したB案で補助金額の配分を行うことに決する。

**(補助金配分結果)**

- 1位 整理No.11 「西田中住民の安全・安心活動事業」 257千円
- 2位 整理No.10 「上越妙高駅賑わいづくり環境整備事業」 323千円
- 3位 整理No.9 「子供達の安全と健全育成事業」 91千円
- 4位 整理No.12 「スポーツによる地域活性化（まちづくり・交流人口の拡大）事業」 320千円

次に、附帯意見について意見のある委員の発言を求めるが、なし。

附帯意見をつけずに一律の減額をし、全ての事業を採択することについて諮り、委員の了承を得る。

以上で次第3 議題（1）「令和2年度地域活動支援事業（追加募集分）の審査・

採択について」を終了する。

一次第4 報告（1）和田区の人口、世帯数等について一

**【有坂会長】**

次第4 報告（1）「和田区の人口、世帯数等について」に入る。

事務局に説明を求める。

**【小池係長】**

・資料No.2により説明

**【有坂会長】**

ただいまの事務局の説明について、質問のある委員の発言を求める。

**【草間委員】**

単独世帯は高齢者なのか。それはどれくらいの割合なのか。

**【小池係長】**

単独世帯は、1人暮らしの世帯のことである。年齢は関係なく、若い人も含めた単独世帯であり、例えば、アパートでの1人暮らしもある。平成27年の世帯構成でみると、和田区において16パーセントが1人暮らし世帯となっている。そのうち、高齢者がどれくらいの割合を占めているかは、今、手持ちの資料がなくて分からない。

**【宮崎副会長】**

資料は国勢調査が基になっているため、平成27年の数値が直近となっている。国勢調査の数値でなく、市で分かる直近の数値を、世帯構成の推移ではなくてよいが、次回会議で示してほしい。また、公の施設についても小学校や保育園を追記してほしい。

**【小池係長】**

次回、提示する。

**【金子委員】**

資料に区内の主な公の施設が記載されているが、以前、市の担当課より和田区

の公の施設は修繕が必要な施設はないとの説明があったと記憶している。だが資料を見ると、今泉スポーツ広場などは築年数も大分経過している。市としては、何年程経過した施設を修繕しているのか。

**【小池係長】**

公の施設については、傷み具合等により担当課で予算要求をして修繕を行っている。緊急的な修繕についても利用者に不便が出ないように適宜修繕をしている。大規模な修繕については、見通しを立てながら進めているものもある。

**【堀川センター長】**

- ・当日配布資料の「公の施設の再配置計画の取組について」（第3回和田区地域協議会配布資料の差し替え版）、「公の施設の再配置計画における各施設の方向性」（追加資料）について説明。

資料のとおり和田区における公の施設の今後の方向性は、「現状維持」となっており、どこか傷んだりした場合は修繕を行う。前回の会議で説明があったとおり、保育園や学校は別の計画において、改修などを考えていくこととなっている。

**【宮崎副会長】**

小学校や保育園については別途計画しているということであるが、どのような計画となっているのか、次回以降参考に教えてほしい。今、説明できるものがあれば説明してほしい。

**【堀川センター長】**

現時点で説明できる施設の改修計画は聞いていない。

**【宮崎副会長】**

追記施設の建築年程度であれば提示できるか。

**【小池係長】**

次回、提示する。

**【有坂会長】**

以上で次第4報告（1）「和田区の人口、世帯数等について」を終了する。

**【有坂会長】**

次に次第5 事務連絡について、事務局に説明を求める。

**【堀川センター長】**

- ・次回の協議会：10月15日（木）午後6時30分から ラーバンセンター 第4研修室
- ・配布資料
- ① 「公の施設の再配置計画の取組について」（第3回和田区地域協議会配布資料の差し替え版）、「公の施設の再配置計画における各施設の方向性」（追加資料）
- ② （参考）令和2年度地域活動支援事業（和田区）主な催し等予定表
- ③ 令和元年度上越市地域活動支援事業 事例集
- ④ 上越市創造行政研究所ニュースレター「創造行政」

**【有坂会長】**

質問のある委員の発言を求めるが、なし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831（直通）

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。